

## ティーチング・ステートメント

所属 工学部情報工学科  
名前 竹沢 恵  
作成日 2024年2月26日

### 【責任】

工学部情報工学科に所属し、情報工学に関連する科目（プログラミング、情報テクノロジー、情報メディア処理、電子情報工学実験など）を担当している。また、ゼミ生への研究指導やキャリア支援の他、PF面談を通して学生のポートフォリオの振り返りや自己分析の支援を行っている。

### 【理念】

学生には、社会の変化を捉えながら、情報工学の技術で何ができるかを考え活動できる人材になって欲しい。社会で求められるものはその時代環境により異なり、実現できるものは技術の進歩により変化する。そのために、状況を読む力や柔軟性を身に付けるとともに、必要な知識や技術を主体的に学ぶ姿勢を身に付けて欲しい。

また、学生には、情報工学が興味深い分野であることを知ってもらい、将来の就職を考えた時に自分が活躍できる場があることを気付かせることができる存在になりたいと考えている。

### 【方針・方法】

上記の理念を実現するために、まずは情報工学に関する知識や技術の習得をサポートしていくことが重要であると考えている。そのために、学生が(1)学びの理解を深め、(2)学びへの集中を高めることができるよう取り組みを行う。その上で、(3)情報工学の面白さや、我々が生活している社会とのつながりを示すことで、学びへのモチベーションを高め、この学問に携わることの誇りを涵養する。

#### (1)「学びの理解を深める」

- 学びに合わせたスピードで授業を行い、わかりやすい説明を心掛ける。
- 写真や図を用いる等、わかりやすい資料を用意する。
- 教科書に掲載されていない情報を補った資料を用意する。
- 理解した知識を頭に定着させるために、手を動かす時間を設ける。
- メールやチャットの質問には、可能な限りすぐに対応する。

#### (2)「学びへの集中を高める」

- 私語の無い静かな環境を整える。
- メリハリをつけた声のスピードや大きさを説明する。
- 説明が長時間にならないように心掛け、授業の途中で小テストや演習を実施し、手を動かす時間を設ける。

#### (3)「学びへのモチベーションを高める」

- 難易度の異なる課題を用意する。
- 授業で学ぶ知識や技術がどのようなところで活用されるのかを具体的に示し、情報工学の必要性や面白さを伝える。
- 最新技術(AI、IoT等)について紹介する。
- 卒業生や企業の方を招き、実際の現場で必要とされる力や技術について講演してもらう。

### 【成果・評価】

- 授業アンケートにおいて、「授業を進めるスピードがちょうど良い」「授業資料がわかりやすい」「質問にすぐに対応してくれた」などのコメントを得ることができた。
- 授業アンケートにおいて、教員の準備状況や授業の進め方について、多くの学生から肯定的な回答を得ることができた。
- 学生が卒業研究の内容を学会で発表した。

### 【目標】

#### （長期目標）

実践力のある技術者を養成する。

#### （短期目標）

- 授業内容・シラバスの見直しをする。
- 最新技術(AI、IoT等)を取り入れた授業を実践する。
- 卒業生や企業の方を招いて、講習会や講演会を実施する。